

一般質問

・御前崎市の農業について



二俣秀明

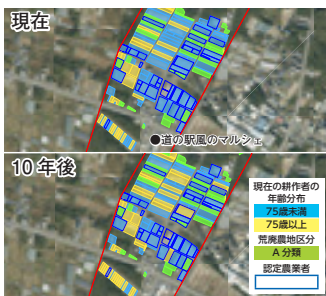
問

農業就業者の減少と高齢化が、2020年農林業センサスで明らかになり、今後増えていく荒廃農地の有効利用と、自然災害対策の収入保険制度について伺う

答

農地利用状況調査結果より、荒廃農地となった土地所有者に、貸し付け希望のアンケートを実施しています。その結果を地図にした意向調査図を毎年作成し、農地のあっせんをしたり、新規就業者には「JA」などの連携で、就農地や荒廃農地関連の補助制度などに応じたりしています。また農業委員や地元農業者と話し合い、農地基盤整備と、意欲ある担い手の確保を進めます。その反面、森林化した農地が再生困難な場合には、非農地化を行っています。なお、新規就農者への中古施設の利用については、農地利用状況調査で有無の把握をし、土地所有者に再利用の確認を考えています。

「収入保険」は、平成31年から始



門屋地区・七ツ山 人・農地プラン地図
Copyright(c)2013 静岡県土地改良事業団体連合会

詳しくはQRコードを読み取っていただき御前崎市のHPの「人・農地プラン」をご覧ください。



問

「人・農地プラン」の話し合いの場で作成した「担い手の耕作箇所・荒廃農地の現状地図」と、「その10年後の予測地図」を、どのように周知されますか

答

地図はホームページ上で公表し、地区センターなどに掲載をお願いしていきたいと考えています。今後とも地区・集落の話し合いの場で利用していきます。

一般質問

・保護者負担の軽減について



齋藤佳子

問

新学校給食センター建設に伴う保護者負担の増加について保護者より疑問の声があるが、教育長のお考えは。また、当事者からの意見集約や丁寧な説明については

答

浜岡、御前崎両給食センターを統合し、8月に完成した新学校給食センターは、従来目指してきた「魅力ある給食の提供」、「安心できる給食の提供」、「費用対効果の実現」に加え、「地産地消とエコ」もテーマにしています。給食センターから保護者宛に発出した文書において、十分な説明と配慮がされていませんでした。このことについて、まずは深くお詫び申し上げます。スプーン・フォークの持参をお願いした経緯は、園児、児童生徒が一層多様化する中、給食を美味しく楽しむということや、関連経費を抑制したいということもありました。負担が増加したとお感じの方々に対して説明が不十分で大変申し訳なく思っています。改めて、御理解と御協力を

いただきたく思っています。

問

全般的な保護者負担の軽減に向けて教育委員会での検討はいかがか

答

保護者の皆様には、園・学校での活動のさまざまな面で御理解、御協力をいただいていることに深く感謝しています。教育活動や教育環境の整備などに対する保護者の負担については、社会状況の変化もありますし、さまざまな事情のご家庭もありますので、現状に合わせて柔軟に可能なものは軽減していく必要があると考えています。今後は、園・学校と保護者が対話を重ねる中で、見直しや検討が進められ、その上で、必要な支援・協力についてお願いしていくような形にしたいと考えています。

